

1. 意見

(別紙)

## 別紙

私たちの生活する天塩川の流域ではかんがい用水、発電用水、水道用水など様々な水利用がなされており、流域全体を様々な面で潤しているという点で、天塩川の持つ重要性は非常に大きなものがあります。

また、天塩川流域自治体全ての住民の生活環境の安全と公衆衛生の向上という観点からも、将来にわたり天塩川の河川環境を守り、適切に維持していくことは大変重要な課題であり、とりわけ住民生活に欠くことのできない水道水の水源を確保することは、最重要課題であると考えます。

一方、近年の世界的な異常気象の増加とともに、日本国内においてもここ数年様々な自然災害が目だってきており、それはわれわれの住む北海道も例外ではありません。

河川整備計画（原案）によると、天塩川流域においてはこれまで主に洪水被害が多く発生していることがわかりますが、これまでの気象の変化を考えると今後は洪水だけでなく濁水による被害の増加も懸念されるのではないかと思います。

人々にとって電気や水道は日常あってあたりまえの存在ですが、災害などによりいざ無という状況になってはじめてその大切さを思い知らされることとなります。

本州各地では、毎年のように洪水による水道施設の被害及び濁水によって水道水の断水や給水制限などが余儀なくされ、住民生活に多大な不便を強いるとともに甚大な損害を与えております。

これまでそのような現状を報道などで目にするときに、人々の生活にとって水道がいかに重要なものであるかを考えさせられてきました。

災害の被害に遭われた方々がまず最初に必要とするものは食料はもちろんですが、なによりも電気と水道の復旧であることは言うまでもありません。

実際に災害のニュース映像で被害に遭った方が、断水後蛇口から水が初めて出たときに見せる喜びと安堵の表情はいつも印象深く映っています。

これまでそれらはテレビや新聞などで目にしてきただけのものだったかもしれませんが、徐々に北海道ひいては天塩川流域に住むわれわれにとっても現実的なものになりつつあり、いつ自分自身の身に直接ふりかかってくるのだろうか、という危機感を抱かせるものとなっています。

一方で人々の生活様式はそうした自然の変化に逆行し、ますます便利さと豊かさを追い求めるものとなっており、水や電気のない不便な生活など考えられないものとなっていると思います。

さらに、今後予定されている流域自治体の合併等に伴う給水区域の拡張や今後さらに多様化するであろう流域住民の生活環境における水利用形態等による将来的な水需要を考えると、ライフラインである水道水の水源を確保し、適切に維持していくことは緊急かつ優先すべき重要な事項であると考えます。

おそろく自然災害の脅威はこれからますます大きくなっていくにちがひありません。  
そのために対策として、われわれの生活習慣を見直したり環境を保護するという取り組みは  
もちろん必要ですが、それと平行して今後ますます増加していくであろう自然災害に伴う被害  
を未然に防止するための対策を講じることも同様に大切なことであると思えます。

天塩川の流域に住む者として、われわれ天塩川流域住民の将来の生活環境の安全と安定のため  
の恒久的対策として、サンルダム建設の早期着工を希望いたします。